

発行人 今村久美子 編集人 土屋和子

 〒191-0041日野市南平2-56-10 E-mail: csc-hino@angel.email.ne.jp
 Tel&Fax 042-583-1528 http://www.angel-hino.com/

特定非営利活動法人市民サポートセンター日野／郵便振替番号 00180-0-612689

Link

Linkは、わたしたちのNPOが市民と市民、市民と行政、市民と事業者、市民と学校、子どもと大人といった様々な人々をリンク（Link：つなぐ）することを、そして心と心をつなぐことを目指しています

4年目を迎えて…

NPOと行政との協働によって、より質の高い市民サービスを

理事長 今村久美子

「市民サポートセンター日野」は創立以来4年目を迎えました。この間皆様方のお力添えをいただきながら、活動内容、事業数ともに順調に伸びてまいりました。心よりお礼申し上げます。

私どものNPOの原点は「日野市女性社会事業協会」です。この協会は市民の強い要望にこたえて日野市が設置し、その活動として「暮らしに根ざした地域密着の支援拠点」の機能を長年にわたって担ってきました。この理念に基づいて、私どもNPOは地域貢献事業と地域相互支援事業に全力で取り組んでおります。

この4月には新規事業として「0歳児ステーションおむすび」と「日野市子ども支援事業そだちあい」を日野市との協

働事業として受託しました。

「協働」とは自立した主体同士が対等な立場で、それぞれもっている資源（情報、専門性、資金、人材）などの得意分野を持ち寄り、足りない部分を補い合うことにより、より質の高いサービスを提供することを目的とします。

行政が持つ情報、組織、調査力と、NPOが持つ柔軟性、専門性、先駆性、迅速性を生かすことにより、効果的な連携が可能となり、より質の高いサービスをお届けすることができると思います。今後とも皆様のご支援、ご協力をいただけますよう心よりお願い申し上げます。



新年会

2007年度 役員氏名

理事長……………今村久美子	
副理事長…………早川裕子	
理事……………下重喜代	理事……………笹原武志
理事……………酒井照子	理事……………土屋和子
監事……………宮岸一馬	

平成18年9月で下重喜代さんが事務局長を退任されました。引き続きNPOの理事としてご尽力いただいております。

こんなときこそ

日野市 子ども部長 米田裕治

子ども、家庭、地域、おとな、…それぞれの状況が、かつてとずいぶん変わってきました。子どもをたくましく、生命力あふれる存在として育てたい。わたしたちの時代を乗り越え、より人間らしい社会を創出してくれる担い手として育ててほしい。願いはつきません。

しかし、時代は子どもたちから、さまざまな環境を奪ってきました。路地遊びはなくなり、時間も細切れで流れていく。おとなの状況もしかりです。

こんなときこそ、柔軟な発想や先駆的洞察力が求められます。

時代を理解し、新しい時代を作り出していく取り組み。市民サポートセンター日野のこれまでの活動をさらに発展させていってほしいと願います。よろしくお願いします。





NPO 新規事業紹介・活動報告

ファミリー・サポート・センター「たかはた」開設

日野市より受託して4年目を迎える「日野市ファミリー・サポート・センター」事業では、多摩平の事務所を中心に活動してまいりましたが、平成19年4月2日より、モノレール高幡駅すぐ、高幡福祉支援センター内に日野市ファミリー・サポート・センター「たかはた」が開設されました。

市内にファミリー・サポート・センターの事務所が二つ誕生するというのは、多摩地区でもはじめてのこととか。たかはた事務所の開設は、浅川南地区への活動の周知や、会員増員のための拠点として、その役割が期待されています。また、二ヶ所の事務所が機能することによって、保育講習会や会員登録、活動の依頼、活動報告書の提出など、会員の方の活動もより便利になったことと思います。市民同士の活動と交流が大きく広がる一歩となるでしょう。

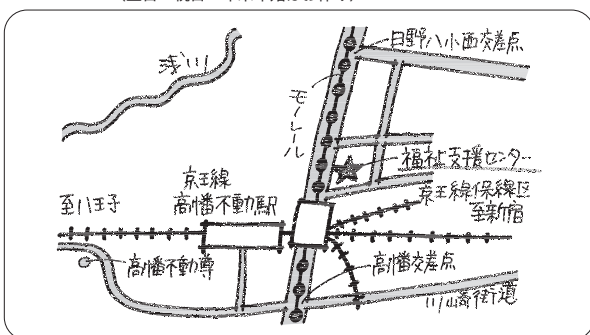


日野市ファミリー・サポート・センター たかはた

〒191-0031 日野市高幡1011 日野市立福祉支援センター内

TEL 042-599-7616

開所時間 月曜日から金曜日の午前9:00から午後5:00まで
(土日・祝日・年末年始はお休み)



日野市0歳児一時保育 0歳児ステーション おむすび

「0歳児ステーション おむすび」は、日野市の一時保育預かり事業のひとつとして、ファミリー・サポート・センター「たかはた」と同じ、高幡福祉支援センター内に6月から開設されました。

NPO市民サポートセンター日野では、近隣他市に先駆けたこの事業を受託し、現在、生後3ヶ月から1歳未満のお子さんを、30

分単位でお預かりしています。この事業は、お子さんを連れて行けない通院や、外出。育児に疲れてしまったときのリフレッシュなど、子育ての支援の一環として始められた事業です。孤立しがちな育児に奮闘するお母さんたちを応援して、社会全体で支えていく一端を担っていきたいと思っています。さらに、利用の輪が大きな波となって、市民同士の支援の輪、地域協働へとつながっていくことを願っています。

また、一時保育だけでなく、親そだち講座を開設。ベビーマッサージやお産体験を語るトークサロンなどへの参加を通して母親のアイデンティティの確立を促し、さらに個としての自立の必要性に気づく、親そだちプログラムの実践をめざしています。



あかちゃんも楽しい時間をすごします

そだちあい事業

19年度4月から、日野市子育て支援事業のひとつとして「そだちあい事業」も日野市より受託し事業がスタートしています。この事業では、市内公立12保育園と23学童クラブを対象に、支援アドバイザーが実際に各施設を巡回し、ヒアリング、行動観察、カンファレンスを行っています。より良い保育と育成をめざして、具体的な保育、育成のためのアドバイスはもとより、職員の方のスキルアップにつながるバックアップをしています。NPO市民サポートセンター日野が受託したことで、各施設と支援機関の連携もより綿密なものとなりつつあります。また、上記の支援アドバイザーは臨床心理士などの専門家11名のチームで活動しています。このようにNPOが専門家を組織して、一つの市のプロジェクトにかかわりを持つということは、NPOと市の協働事業として画期的な試みとなっています。NPO市民サポートセンター日野ならではの子育て支援の活動に、期待が寄せられています。



カンファレンス風景

多摩平の森ふれあい館総合受付

人と人、人と街をつなぐ受付

多摩平の森ふれあい館総合受付は現在13名のメンバーです。4月に新たな仲間を迎え、初心に返って受付業務に携わっています。利用者はもちろん、来館者は増える一方で、対応に追われる日々です。まさにお客様はいろいろで、いろいろな考えの持ち主の方にお会いしています。どのお客様にもニーズの先取りができるようにしていきたいと願っています。最近では、また来たいと思っていただけるように、お花や球根を植え、素敵なふれあい館の演出にちょこっと手助けしています。また、エコキャップ運動にも参加し、キャップを通じたお客様との繋がりが、集会室を超えて街に広がって行く感じです。（酒井照子）



コミュニティカフェ「カフェ・グリーン」

開店4年目、みんなの笑顔があふれています

開店4年目、みんなの笑顔があふれています

多摩平の森ふれあい館3階のコミュニティカフェ「カフェグリーン」は開店4年目を迎えています。6名のスタッフが交代で、お客様をお迎えしています。開店時間は午前11時半から午後5時。月曜定休で営業しています。

4年目に入り、カフェの窓から見える景観も様変わりしました。お決まりの席に座って時の移り変わりを眺める常連さん。散歩の合間のひと時を、お気に入りのパウンドケーキとミルクティーですごします。そんな皆さんの“ホットタイム”をお手伝いできたらと思います。ふれあい館のカフェでちょっと一息いれませんか？（北見千恵子）



ITプロジェクト

ITプロジェクトでは「誰でもITの恩恵を実感できる市民自治社会の実現」をめざして、多摩平自治会ホームページの立ち上げや、パソコン操作の自宅訪問サポートなどの活動を行ってきました。

19年度の新しい活動事業として6月より「シニアのための携帯電話講習会」をひの市民活動団体連絡会と共催で企画・運営をしています。シニア世代に携帯電話をもっと積極的に利用してもらうことが目的の講座です。

また、日野市中央公民館からの委託を受け、中央公民館高幡台分室においてパソコン講座「学ぼう、使おうインターネット」を開催しました。ITプロジェクトのメンバーも講師として活躍しています。（吉野吾郎）



新撰組のふるさと歴史館

新撰組のふるさと歴史館では、平成17年9月より、受付案内・事務補助業務を行っています。業務にあたり、来館されたお客様一人ひとりに親切、丁寧な対応をすること、また、気づいたことや、良いと思うことは積極的に提案していけるよう、意識を持って仕事をしていくことを心がけております。9月23日（日）からは、郷土資料館主催の企画展「幻の真慈悲寺を追う」が開催されます。関東でも有数の格式を誇った幻の大寺院に関する調査事業の最新の成果を、ぜひご覧ください。皆様のご来館、お待ち致しております。（室園理香子）



育児支援家庭訪問事業

派遣事業育児家事訪問支援員(すくすくサポーター)派遣事業

H18年4月より日野市より受託され始まった事業です。お子様のいらっしゃるご家庭へ子育て応援サポーターとして、すくすくサポーターを派遣しています。現在登録されているすくすくサポーターは25名。子どもたちよりパワーをもらっていますからと突発的な依頼でも快く受けていただいています。子どもたちの未来のためにご活躍を期待しています。



自治会HP

多摩平自治会ホームページが完成しました！

<http://www.tamamori.net/>

●18年度下期、自治会ホームページづくりのモデル事業として、多摩平自治会と協働し製作した自治会のホームページが完成し引渡し完了しました。自治会の情報をホームページというツールを使って開示する試みへの挑戦でした。

☆引き続き活動しています！

自宅訪問サポートでは、パソコンの操作やトラブル対応を、自宅訪問してもらい個別に診断してもらえます。気軽に利用してみてください。

問い合わせ tel 042-583-1528



あなたの力を
かしてくださ
い！
サポーター募集

当NPOでは活動のサポートをしてくださる方を募集しています。

これから地域での様々な貢献活動が増えていくのに従い、会員の皆様の力がぜひ必要です。「多摩平の森ふれあい館」の受付案内スタッフ、「cafe green」の

スタッフなどもNPOサポーターの活躍の場となっています。その他簡単な入力作業や、イベントのお手伝いなど様々な活動で活躍していただいています。

お問い合わせは

tel&fax 042-583-1528まで。



平成18年度 特定非営利活動にかかる事業会計収支計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

科 目	金 額 (単位: 円)	
【収入の部】		
1. 入会金等収入		
入会金収入	31,000	
会費収入	270,000	301,000
2. 受託収入		
ファミリー・サポート・センター育児支援事業	11,000,000	
ファミリー・サポート・センター介護・家事支援事業	6,900,000	
育児支援家庭訪問事業育児家事支援業務	1,340,955	
ふれあい館施設管理事業	4,838,718	
新選組のふるさと歴史館館内業務等事業	5,655,400	
小島善太郎展受付案内業務等事業	270,000	30,005,073
3. その他事業収入		
コミュニティカフェ	2,236,672	
IT推進支援事業	512,500	
市民のライフステージに応じた学習講座	0	
市民活動団体協力事業	27,500	2,776,672
4. 補助金収入		
NPO支援補助金（自治会HP支援事業）	487,500	487,500
5. 寄付金収入	102,000	102,000
6. 雑収入	3,354	3,354
当期収入合計		33,675,599
前期繰越収支差額		2,058,829
収 入 合 計		35,734,428
【支出の部】		
1. 受託事業費		
ファミリー・サポート・センター育児支援事業	10,476,191	
ファミリー・サポート・センター介護・家事支援事業	6,571,429	
育児支援家庭訪問事業育児家事支援業務	1,269,007	
ふれあい館施設管理事業	4,595,675	
新選組のふるさと歴史館館内業務等事業	5,372,532	
小島善太郎展受付案内業務等事業	255,700	28,540,534
2. その他事業費		
コミュニティカフェ	2,379,682	
IT推進支援事業	621,400	
市民向け子育て情報収集・提供事業	613,958	
市民活動団体協力事業	204,337	
啓発広報事業	110,935	3,930,312
3. 補助金収入		
NPO支援補助金（自治会HP支援事業）	487,500	487,500
4. 事業運営管理費	2,517,178	2,517,178
当期支出合計		35,475,524
当期収支差額		-1,799,925
前期繰越収支差額		2,058,829
次期繰越収支差額		258,904

平成19年度 特定非営利活動にかかる事業会計収支予算書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

科 目	金 額 (単位: 円)	
【収入の部】		
1. 会費・入会金収入		
入会金収入	50,000	
会費収入	290,000	340,000
2. 寄付金収入	150,000	150,000
3. 受託収入		
ファミリーサポート育児支援事業	18,270,000	
ファミリーサポート介護・家事支援事業	6,900,000	
育児支援家庭訪問事業育児家事支援業務	970,000	
ふれあい館施設管理事業	5,403,000	
新選組のふるさと歴史館館内業務等事業	6,941,000	
福祉支援センター0歳児一時保育事業	7,772,000	
日野市中央公民館パソコン講座	120,000	
子ども支援事業「そだちあい」業務	14,000,000	60,376,000
4. 事業収入		
コミュニティカフェ事業	2,300,000	
IT推進支援事業	120,000	
市民活動団体協力事業	50,000	2,470,000
5. 雑収入		
雑収入	2,000	2,000
【支出の部】		
受託事業費		
ファミリーサポート育児支援事業	17,400,000	
ファミリーサポート介護・家事支援事業	6,571,000	
育児支援家庭訪問事業育児家事支援業務	924,000	
ふれあい館施設管理事業	5,146,000	
新選組のふるさと歴史館館内業務等事業	6,610,000	
福祉支援センター0歳児一時保育事業	7,333,000	
日野市中央公民館パソコン講座	114,000	
子ども支援事業「そだちあい」業務	13,333,000	57,431,000
その他事業		
コミュニティカフェ事業	2,300,000	
IT推進支援事業	120,000	
市民活動団体協力事業	950,000	
啓発広報事業	300,000	3,670,000
管理費	2,237,000	2,237,000
		63,338,000

あつい期待を担って

副理事長 早川裕子

この四月から当NPOが新しく始めた事業のひとつ、「日野市子ども支援事業そだちあい」とは、保育園や学童保育のなかで「気になるこどもたち」について、よりよく理解し、望ましい方向に導いていけるように、支援アドバイザー（心理士）が保育者やスタッフと協力していくシステムです。

こだわりが強くパニックになったり、まったく意欲が感じられなかったりする幼児や、友だちと遊べなかったり、暴言・暴力がすぐ出る学童が増えているようです。家庭の問題もありそうですが、親たちへの接し方も含めて、先生

たちは扱いに悩んでいます。

そんなケースに少しでも役立つために、支援アドバイザーたちは、彼らの話を聞き、現場に立ち会い、専門家との会議も持って、解決の道を探っているのです。保育者・スタッフたちからは、わらにもすがるような熱い期待が感じられますが、一朝一夕に解決することではなく、難しく荷の重い仕事です。

でも、アドバイザーの存在自体が、先生たちの気持ちを軽くし、深く考えた誠実な対応が、明るい展望を生み出してくれることと期待し、応援しています。

編集後記

昨年10月1日から、前事務局長下重理事の後任として日野市の官製NPOという由緒あるNPOの事務局長をお引き受けし、責任の重さを痛感しております。今年度は新しい事業が3つ始まりその準備に追われた数ヶ月でした。サポーターの方々のお励ましと理事長はじめ理事のご指導、事務局職員の協力をエネルギーとして、事業運営に携わってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局長 土屋和子

